

令和2年度第2回茅ヶ崎市社会教育委員の会議臨時会会議録

議題	(1) 諮問について (2) 答申作成について (3) その他
日時	令和2年10月30日(金)
場所	書面会議のため設定なし
出席者氏名	議長：吉原 弘子 副議長：荒川 融 小澤 登代子、鈴木 志津江、鈴木 由香里、深井 孝一、 沼上 純子、南 栄美子、山本 珠美、山本 有樹
会議資料	・新しい生活様式における社会教育の可能性と未来について(諮問)(写し) ・答申作成スケジュール(案)
会議の公開・非公開	公開
非公開の理由	
傍聴者数	-

(会議の記録)

○議題1 諮問について

会議資料「新しい生活様式における社会教育の可能性と未来について(諮問)(写し)」の送付により、教育長から社会教育委員に諮問がされた。

○議題2 答申作成について

答申作成の進め方などについて、各委員に御審議いただき、委員10名から事務局に表決書が提出された。

社会教育委員の定数10名に対して、10名の表決書の提出をいただき、過半数の提出をいただいているため、茅ヶ崎市社会教育委員会議規則第6条に基づき定めた新型コロナウイルス感染症対策のための社会教育委員の会議運営要綱の規定第2条第4項により、会議は成立した。

(決定事項)

※以下の決定事項については、茅ヶ崎市社会教育委員会議規則第3条第5項のとおり、出席委員（表決書の提出委員数）の過半数の承認を得た。

- (1) 答申作成スケジュールについては、会議資料案のとおり決定した。
- (2) 答申作成のための小委員会として起草委員会の設置について決定した。
- (3) 吉原弘子議長、荒川融副議長、南栄美子委員、山本珠美委員を起草委員に決定した。
- (4) 答申作成に伴う委員の調査事項について以下のとおり決定した。
 - ・新しい生活様式下における地域や社会教育関係団体活動に関する現状の活動状況（コロナ発生前との変化） ・課題の把握
 - ・社会教育関係団体活動に伴う課題への取組み状況
 - ・社会教育関係団体等の今後に向けた新たな取組み状況（オンライン活用など）
 - ・市内の社会教育施設におけるオンライン活用状況について
 - ・他市のオンライン活用における先進事例について
 - ・新型コロナウイルス発生後の子ども（幼児・児童・生徒）の精神面の変化について

○議題3 その他
特になし